

第四次地域福祉計画 地域福祉活動計画 進行管理シート	基本目標 1 みんなで支える地域共生社会づくり		
	施策の方向性(1) 地域で支え合う仕組みづくり		
	取組み 1) 市民主体の支え合いの場の充実		
施策タイトル	①あいさつでつながる地域づくり		
計画内容	・あいさつを交わすことにより、住民同士等がつながり合い声をかけあう地域を目指して、「まちでニコリ(*^_^*)あいさつ・声かけ運動」の推進に努めます。		
取組状況	○住民同士等がつながり声を掛けあう地域を目指して市内小中学校校門前及び通学路にてあいさつ声かけ運動実施。 ○小学校1年生へ「ちびっこ・あいさつ声かけひろめ隊」(シール提供)の任命活動の実施。		
実績値	①まちニコシール贈呈 1,179名/10校	②	③
課題等	あいさつ・声かけ運動の意義や目的の共有	今後の方向性	住民が主体となり、あいさつ・声かけ運動を継続し、各地域で定着するよう働きかけを行う。また、継続して小学1年生へ「まちニコシール」を贈呈する。
課名	宜野湾市社会福祉協議会 地域福祉推進係	事業評価 (A~E)	C
施策タイトル	②「地域支え合い活動委員会」の取り組みの充実		
計画内容	・メンバー間での積極的な意見交換を促進し、活動の考え方や内容・方法について意識の共有化を図ることにより、更なる取り組みの充実に努めます。そうした中で、地域づくり活動と併せ、地域の実情に合わせた個別支援活動の展開を促進していきます。 ・困りごとを抱えている方や潜在的な相談者を発見し、地域人材・資源等と連携して支援を図っていくことができるよう、地域支え合い活動委員会に対して必要な支援に努めます。 ・見守りおかけり支援などの取り組みを行う中で地域の企業を巻き込んだ展開を促進します。 ・必要に応じ、研修会や勉強会などの情報提供に努めるなど、活動の側面的な支援を図ります。		
取組状況	○23自治会にて地域支え合い活動委員会を実施。 ○地域づくり活動並びに個別支援活動の充実に努めた。 ○研修会や勉強会の機会を設け、委員の資質向上に努めた。		
実績値	①地域支え合い活動委員会 23自治会 / 2,453名参加	②個別支援取り組み 499回	③研修会及び勉強会の開催 17回
課題等	より一層、多くの地域の皆さんが参加しやすい雰囲気づくり等の工夫が必要である。	今後の方向性	年々個別支援の取り組みが充実しており、少子高齢社会の社会情勢等を鑑みながら、支援体制の構築に努めていきたい。
課名	宜野湾市社会福祉協議会 地域福祉推進係	事業評価 (A~E)	B

施策タイトル	③地域支え合い活動委員会の周知		
計画内容	<ul style="list-style-type: none"> ・社協だよりをはじめ、本会ホームページやコミュニティFM、ささえあい通信といった各種の広報媒体を用い、引き続き、地域支え合い活動委員会の周知を図ります。 ・地域の取り組み等をタイムリーに発信するとともに、若者世代への情報発信の強化等を図るため、SNS等を利用した情報発信について検討していきます。 		
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ささえあい通信を発行し、本会HPや市役所HP等で広報を行った。 ○ツイッター・LINE等のSNS媒体を活用し、地域活動の情報提供を行った。 		
実績値	①ささえあい通信発行 7回	②SNS媒体を活用した情報発信 50回	③
課題等	地域の皆さんが行っている活動を多くの市民に理解してもらえる仕組みづくり（広報周知）が課題である。	今後の方向性	SNS媒体を活用しながら、地域の取り組みが多くの市民に理解してもらえるよう取り組んでいきたい。
課名	宜野湾市社会福祉協議会 地域福祉推進係	事業評価 (A~E)	B
施策タイトル	④地域支え合い活動の課題解決に向けた取り組み		
計画内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域支え合い活動委員会の活動から挙がる地域課題について、地域福祉コーディネーター間で共有を行い、行政の地域福祉コーディネーターと連携し行政各課や関係機関と解決に向けた協議や調整を行います。 		
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ○地域課題解決に向け、地域福祉コーディネーター間での情報共有を図った。 ○福祉総務課との定例会の場を設け、事業の進捗状況や事業展開についての意見交換を行った。 		
実績値	①コーディネーター定例会 12回	②福祉総務課との定例会 11回	③
課題等	8050問題や支援拒否等の地域課題が多様化しており課題解決に向けた取り組みが十分に出来なかった。	今後の方向性	地域、社協、行政が連携し、地域課題に取り組める体制づくりを行う。
課名	宜野湾市社会福祉協議会 地域福祉推進係	事業評価 (A~E)	B

施策タイトル	⑤見守り支援活動の充実		
計画内容	<ul style="list-style-type: none"> ・住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、地域支え合い活動委員会での見守り活動の充実や一人暮らし高齢者等保健飲料給付事業、見守り活動助成事業等を通して企業・関係機関との協働・連携を推進し、支援体制の構築を図っていきます。 		
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ○地域支え合い活動委員会での見守り活動の充実を図った。 ○住民主体による見守り活動（配食型/日常見守り型 *赤い羽根共同募金活用）を展開し、訪問しやすい環境づくりに努めた。 ○高齢者等保健飲料給付事業においては、地域民生委員や地域住民等との接点が設けられるよう工夫を図った。 		
実績値	①保健飲料給付 延べ1,454名利用	②住民主体見守り活動 14自治会 助成金額 928,000円	③
課題等	地域支え合い活動に対する意識の地域差が大きく、活動が停滞している地域がある。	今後の方向性	活動が停滞している地域に対し、事例や勉強会等を通して、住民が主体となり活動ができるよう働きかける。
課名	宜野湾市社会福祉協議会 地域福祉推進係	事業評価 (A~E)	B
施策タイトル	⑥生活支援体制整備事業の推進等による中学校区圏域での活動支援		
計画内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉サービスや住民同士の集いの場、地域ニーズ等の地域資源の把握・充実・開発を行います。 ・第2層協議体（中学校区圏域）については、地域実情や地域状況に応じた活動展開を図り、住民主体を基本とする協議体運営を行っていきます。なお、高齢者以外の幅広い対象者への支援等、地域の抱える多様な課題への対応を検討していくことができるよう、行政と連携しながら体制充実に努めます。 ・第2層協議体（中学校区圏域）に生活支援コーディネーターを配置し、コーディネート機能の役割を果たしながら推進していきます。 		
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ○地域ニーズ等の地域資源の把握・充実・開発に向けた取り組みを行った。 ○生活支援コーディネーターが地域の抱える多様な課題への対応を検討し、適切な助言アドバイス等を行った。 ○ゆいべいフォワードへの後方支援を行いながら、活動の充実に取り組んだ。 		
実績値	①自立支援型地域ケア会議への 参加 14回	②通いの場等への参加 93回	③
課題等	個人が抱える課題と地域課題、そして、担い手育成の充実に向けた取り組みがとて難しかった。どのような取り組みを中心に実施していけばいいのかを検討していきたい。また、地域資源や団体等のシートづくり及び課題の可視化に向けた取り組みが出来なかった。	今後の方向性	地域実情に応じた事業展開を行いながら、地域住民が参加しやすい雰囲気や場づくりを地域住民の方々と協働連携しながら事業展開をしていきたい。また、地域資源や団体等のシートづくり及び課題の可視化に向けた取り組みを推進していきたい。
課名	宜野湾市社会福祉協議会 地域福祉推進係	事業評価 (A~E)	C

第四次地域福祉計画 地域福祉活動計画 進行管理シート	基本目標 1 みんなで支える地域共生社会づくり
	施策の方向性 (1) 地域で支え合う仕組みづくり
	取組み 2) 地域福祉コーディネーターの活動の充実

施策タイトル	①地域福祉コーディネーターの配置と活動の充実		
計画内容	<ul style="list-style-type: none"> ・本会に配置されている地域福祉コーディネーターについて、4名配置体制の継続を図ります。 ・地域福祉コーディネーターは、「地域支え合い活動委員会」との協働・連携を図るとともに、地域と関係機関との連携をサポートするコーディネート及びコミュニティソーシャルワーク機能を担うものとし、活動の充実に努めます。 ・行政に配置されている地域福祉コーディネーターとの連携を密にし、課題の共有化を図ります。 ・行政と連携し、地域福祉コーディネーターを中心に、前述した「相談支援包括化推進会議（仮称）」の運営・コーディネートを行う事務局としての役割を持ち、体制や活動内容の充実強化を検討していきます。 		
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ○地域福祉コーディネーターを4名配置する事が出来た。 ○地域支え合い活動委員会においてコミュニティソーシャルワーク機能を用いながら地域づくり・個別支援に対応する事が出来た。 ○「相談支援包括化推進会議（仮称）」においては、検討委員会を設ける事が出来た。 		
実績値	①包括的な支援体制の整備に向けた検討委員会 1回	②	③
課題等	地域支え合い活動委員会においてコミュニティソーシャルワーク機能を用いた事業展開が難しかった。	今後の方向性	1人の課題を地域の課題として捉えていく仕組みをどのようにしていくのかを議論しながら地域活動の充実に向けた事業展開を行っていききたい。
課名	宜野湾市社会福祉協議会 地域福祉推進係	事業評価 (A～E)	B
施策タイトル	②地域との協働による問題解決に向けた取り組みの実施		
計画内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉コーディネーターは、地域の自主性を尊重し、地域と協働して問題解決に取り組んでいくものとし、住民に対し適切な情報提供を図るなど、地域福祉活動に参加できるようサポートしていきます。 ・地域支え合い活動委員会等に対し専門的立場から様々な地域活動を促進していくため、必要に応じて地域の担い手（キーパーソン）となる人材の発掘や育成、講演会の開催に向けた企画づくりの支援等を行います。 ・地域づくり活動について、見守り活動や地域の現状・課題の把握につながるよう働きかけていくことにより、問題解決につながる取り組み実施を促進します。 		
取組状況	○福祉の専門的立場から助言アドバイスや活動の促進に向けた取り組みを行う事が出来た。		
実績値	①福祉や地域情報の発信 9回	②個別支援の対応 449回	③
課題等	個別支援の対応で、支援者及び地域をどのようにして巻き込んでいけばいいのか苦慮する場面があった。	今後の方向性	個別支援を通し、対応に苦慮する場面もあったが、地域理解、支援への理解等を得られる場面もあり、今後も一人でも多くの協力者、賛同者を得ながら見守り活動等への取り組みの充実を図っていききたい。
課名	宜野湾市社会福祉協議会 地域福祉推進係	事業評価 (A～E)	B

施策タイトル	③地域福祉コーディネーターの資質向上		
計画内容	・地域福祉コーディネーターのスキルアップを図るため、コミュニティソーシャルワークに関する技術論や技術実習等、資質向上に資する各種研修への参加促進を図ります。		
取組状況	○専門職としての研修会等への参加を行う事が出来た。		
実績値	①研修会への参加 5回	②	③
課題等	地域課題が複雑多様化している中で専門的な知識が必要な場合が多いため、計画的な研修会の企画及び参加に努めたい。	今後の方向性	専門職としての資質向上に努めながら、地域支え合い活動委員会や地域活動が充実していけるようスキルアップを図っていきたい。
課名	宜野湾市社会福祉協議会 地域福祉推進係	事業評価 (A~E)	B
施策タイトル	④保健師の配置		
計画内容	・地域づくり活動等を通し、地域の医療・保健に関する課題への対応を図るため、保健師の配置を継続します。		
取組状況	○個別支援からあがってくる医療・保健に関する課題解決に向けた連携を図った。		
実績値	①地域住民への保健指導 3ヶ所 / 35名	②ケース対応(電話訪問等) 421件	③
課題等	関係機関との連携や役割分担	今後の方向性	市民向け講座や小学生の福祉教育を通して、認知症やフレイル等に関する理解を深め、市民の「健康づくり」や「予防」に取り組む。
課名	宜野湾市社会福祉協議会 地域福祉推進係	事業評価 (A~E)	B

第四次地域福祉計画 地域福祉活動計画 進行管理シート		基本目標 1 みんなで支える地域共生社会づくり		
		施策の方向性 (2) 地域活動の活性化支援		
		取組み 1) 自治会・福祉団体等の活性化		
施策タイトル ①自治会加入の促進				
計画内容	・自治会加入促進強化事業への参加協力を実施していくとともに、地域支え合い活動委員会等の地域福祉活動を通じた自治会加入促進に向けた取り組みを行っていきます。			
取組状況	○「自治会への加入促進に関する基本協定」に基づく自治会加入促進に対する支援活動を行った。			
実績値	①自治会加入促進強化事業への協力 1回	②	③	
課題等	本活動の充実に向けた取り組みが出来なかった。	今後の方向性	自治会加入促進強化事業への協力を続けながら自治会加入率の向上に向けて取り組みを支援していきたい。	
課名	宜野湾市社会福祉協議会 地域福祉推進係	事業評価 (A~E)	C	
施策タイトル ②福祉団体と各種地域資源との連携・情報共有支援				
計画内容	・市内の福祉団体と福祉施設、事業所、NPO、ボランティア団体等の把握を行うとともに、相互交流・情報交換の機会創出に努める中で、連携・情報共有を促進し活動の活性化を図ります。			
取組状況	○福祉団体やNPO法人等との連携・情報共有の促進に努める。			
実績値	①	②	③	
課題等	市内の福祉団体やNPO法人等との情報交換等を開催する事が出来なかった。	今後の方向性	法人の地域貢献が求められており、今後どのような形で市内の福祉団体やNPO法人との連携が出来るか等について模索していきたい。	
課名	宜野湾市社会福祉協議会 地域福祉推進係	事業評価 (A~E)	E	
施策タイトル ③福祉活動の活動資金確保に向けた研究実施				
計画内容	・社会的課題の解決に向けて取り組んでいるNPO等と連携し、多様な手法を用いてその実践・普及に努めます。			
取組状況	なし			
実績値	①	②	③	
課題等	なし	今後の方向性	なし	
課名	宜野湾市社会福祉協議会 地域福祉推進係	事業評価 (A~E)	E	

第四次地域福祉計画 地域福祉活動計画 進行管理シート		基本目標 1 みんなで支える地域共生社会づくり			
		施策の方向性 (2) 地域活動の活性化支援			
		取組み 2) 地域での居場所・活動の場の充実			
施策タイトル ①市民の交流・活動の場の充実					
計画内容 ・自治会でのミニデイサービス事業（あしび村やデイサービス）や子育てサロン等、市民に身近な公共施設や民間施設で行われている支え合いの取り組みや各種交流事業について、内容の充実に努め、市民への周知や参加促進を図ります。併せて、高齢者を支える地域の支え合いの体制づくりを推進していきます。					
取組状況 ○ミニデイサービス事業の実施及び活動の充実にに向けた取り組み ○子育てサロンの情報交換会の開催に向けた検討					
実績値 ①ミニデイサービス事業 利用者394名 ボランティア553名 ② ③					
課題等		ミニデイサービス事業においては、送迎の必要性が訴えられており、課題解決に向けた調査、ミニデイ代表者・自治会長との意見交換・検討を行い、要請を行う事が出来たが予算確保は出来なかった。また、子育てサロンにおいては新型コロナウイルスの影響を鑑み意見交換会等を開催する事が出来なかった。		今後の方向性 ミニデイサービス事業においては、WITHコロナを念頭に高齢者福祉の充実に向け、取り組みのあり方についても検討していきたい。また、送迎の必要性についても引き続き議論を深めていきたい。 子育てサロンについては、事業ニーズの有無や必要性等についても検討しながら意見交換会等の開催について検討していきたい。	
課名		宜野湾市社会福祉協議会 地域福祉推進係		事業評価 (A~E) B	
施策タイトル ②「交流施設」の整備に向けた取り組みの推進					
計画内容 ・真栄原地区において予定している“交流施設”の整備に向け、宜野湾市担当課と連携していきます。					
取組状況 「交流施設」に関する担当部署との話し合いを持ち、センター移設の基本設計に係る事務所機能に関する調整・要望を行った。					
実績値 ①「交流施設」移転に向けた調整会議等 3回 ② ③					
課題等		行政の進捗状況による対応となるため、担当課と連携を強化し機能の充実化を図ることが望まれる。		今後の方向性 センター建設に向け、担当課と連携の強化を図り取り組む。	
課名		宜野湾市社会福祉協議会 総務・相談支援係		事業評価 (A~E) A	

施策タイトル	③宜野湾市社会福祉センターの運営管理及び機能移転に向けた調整実施		
計画内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域住民の福祉推進と地域福祉活動の育成を図ることを目的として整備された宜野湾市社会福祉センターの運営管理を継続し、福祉・ボランティア団体の活動拠点になるようセンター機能の充実に努めます。 ・ 老朽化のみられる社会福祉センターについて、危険個所の速やかな改善を図り、安全性に充分配慮しながら運営を図るとともに、真栄原地区に整備される「交流施設」への機能移転に向け、各種調整等を図ります。 		
取組状況	社会福祉センターの貸出を行い、安全点検と伴に、現センター危険個所の修繕、機能維持に向けて行政との調整を行った。		
実績値	①センター貸出 912回 ※ホール、ボランティアサロン、 団体室の貸出総数	②危険個所の修繕 7カ所	③避難訓練の実施 2回
課題等	老朽化に伴い社会福祉センター危険個所の改善など 随時行い、利用者の安全面の確保を行っているが、 新交流施設建設まで維持できるか分からない。	今後の方向性	随時、危険個所の点検を行い、建物の維持 を行い安全の確保、利用者の安全確保を行 う。
課名	宜野湾市社会福祉協議会 総務・相談支援係	事業評価 (A~E)	B
施策タイトル	④ひきこもりがちな市民等が社会とつながり・交流できる場の確保・充実		
計画内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ これまで居場所へ足を運ばなかった市民も参加しやすい地域の居場所等の整備や、その参加を促す仕組みを宜野湾市や関係機関と検討します。 		
取組状況	未実施		
実績値	①	②	③
課題等	市行政や関係機関と検討する場が持てなかった。	今後の方向性	検討する場を設定し具体的な取り組みにつ いて検討
課名	宜野湾市社会福祉協議会 総務・相談支援係	事業評価 (A~E)	E

第四次地域福祉計画 地域福祉活動計画 進行管理シート	基本目標 1 みんなで支える地域共生社会づくり
	施策の方向性 (3) 地域で取り組む防犯・防災対策の充実
	取組み 1) 防犯・防災対策を通じた地域づくりの推進

施策タイトル	①宜野湾市地域防災計画の推進		
計画内容	<ul style="list-style-type: none"> ・本会の事業を通し、民生委員・児童委員、ボランティア、避難行動要支援者等に向けて宜野湾市地域防災計画の周知を図るとともに、災害情報を伝達するネットワークの構築や避難場所の周知を図ります。 ・地域支え合い活動委員会等で避難行動要支援者の支援体制の構築に向けた防災学習を実施していく中で津波一時避難ビルや避難所・福祉避難所の確認・周知を図ります。 		
取組状況	○「宜野湾市避難行動要支援者支援計画」策定会議への参加。		
実績値	①「宜野湾市避難行動要支援者支援計画」策定会議 3回	②	③
課題等	避難場所の周知や津波一時避難ビルや避難所等についての学習や確認・周知を行う事が出来なかった。また、関係機関や社協・行政等の役割分担について明確化出来ていない。	今後の方向性	宜野湾市地域防災計画の周知及び避難場所等についての周知をどのように行っていくのか等について検討していきたい。また、どのように住民へ周知していくのか地域防災計画等に基づいて連携していきたい。
課名	宜野湾市社会福祉協議会 地域福祉推進係	事業評価 (A~E)	D

第四次地域福祉計画 地域福祉活動計画 進行管理シート	基本目標 1 みんなで支える地域共生社会づくり		
	施策の方向性 (3) 地域で取り組む防犯・防災対策の充実		
	取組み 2) 避難行動要支援者に対する支援の充実		

施策タイトル	①避難行動要支援者に対する日常的な見守り支援体制の充実		
計画内容	・宜野湾市担当課や民生委員・児童委員、自治会（自主防災組織）等、様々な地域団体と連携し、日常的な見守り活動を含め、災害時に対応できる体制づくりに努めます。		
取組状況	○日常的な見守り活動を含め、支援体制の構築の取組み		
実績値	①地域支え合い活動委員会での防災学習 1回	②	③
課題等	避難行動要支援者支援の支援のあり方について行政と具体的な取組みについて協議する事が出来なかった。	今後の方向性	日頃からの見守り支援が必要な方への支援体制の強化を図りながら地域防災計画等に基づき支援体制の構築に向けた取組みの協力を図って行きたい。
課名	宜野湾市社会福祉協議会 地域福祉推進係	事業評価 (A~E)	C

第四次地域福祉計画 地域福祉活動計画 進行管理シート	基本目標 1 みんなで支える地域共生社会づくり		
	施策の方向性 (4) 生活困窮者自立支援対策の推進		
	取組み 1) 生活困窮者の自立促進や住居の確保に向けた支援		

施策タイトル	①生活福祉資金貸付事業の周知・利用促進		
計画内容	・沖縄県社会福祉協議会が実施する生活福祉資金貸付事業の相談窓口として地域住民からの相談を受け、世帯の自立に向けた支援を行っていきます。		
取組状況	生活に関する相談を踏まえ、生活福祉資金の相談・申請対応等。通常の本則とコロナ特例の貸付に対応。世帯の経済的自立支援に取り組んでいる。		
実績値	①相談件数：2,780件 ※相談件数は、特例貸付相談件数（貸付・猶予・免除等）も含む	②申込件数35件（本則）	③決定件数32件（本則） ※特例貸付決定件数 10,525件（総件数）
課題等	生活に困窮している世帯の自立に向けた貸付であり、一時的支援にはなるが自立まで至らない状況がある。	今後の方向性	多様・複雑な世帯の課題に対し、関係機関と連携を強化し支援に取り組む。
課名	宜野湾市社会福祉協議会 総務・相談支援係	事業評価 (A~E)	A

第四次地域福祉計画 地域福祉活動計画 進行管理シート	基本目標 1 みんなで支える地域共生社会づくり	
	施策の方向性 (4)	生活困窮者自立支援対策の推進
	取組み	2) 生活に対する支援の実施

施策タイトル	①福祉金庫貸付事業の周知・利用促進		
計画内容	・本会独自の事業として、一時的に生活が厳しくなった世帯等に対して小口資金の貸付を行い、生活の維持を図るとともに、関係機関との連携を図りながら自立に向けた支援を行います。		
取組状況	一時的な給与の減少や生活費の急な出費により、一時的な生活困窮等の世帯支援として小口の貸付を行い世帯の生活の維持を図る。		
実績値	①貸付件数 76件	②貸付金額1,354,550円	③
課題等	貸付に依存している世帯、自立につながらない世帯、未償還世帯への返済の働きかけ等が課題。	今後の方向性	貸付後の自立に向けた関係機関との連携の強化を図る。
課名	宜野湾市社会福祉協議会 総務・相談支援係	事業評価 (A~E)	B
施策タイトル	②緊急一時支援（法外援助）による援助実施		
計画内容	・自然災害等による被災や緊急援助を必要とする世帯への一時的な支援（金品や生活物資等による支援）を行います。また、関係機関等との連携を図り、生活状況の改善に向けた支援を行います。		
取組状況	緊急一時的な経済的支援を必要とする世帯、火災や水害などの自然災害にあわれた世帯に対し一時的な支援として金品やフードドライブを活用し支援を行う。継続的な生活支援が必要な状況のため関係機関と連携し対応。		
実績値	①法外援助費（現金）の支給 31件 287,249円	②物品の支給 383件 (食料・日用品等)	③
課題等	一時的な支援事業であるが、何度も利用する方がおり、利用者の自立支援に向けて関係機関と連携強化が必要である。	今後の方向性	関係機関と連携を強化し、迅速に支援体制の構築が必要
課名	宜野湾市社会福祉協議会 総務・相談支援係	事業評価 (A~E)	B

施策タイトル	③歳末たすけあい募金の効果的な活用		
計画内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 困窮状況にある世帯が明るい正月を迎えられるよう、歳末たすけあい募金（一部）を活用し、見舞金の支給による支援を実施します。 ・ 困窮世帯の新1年生（小学1年生・中学1年生）を対象に、学用品準備支援に係る一部助成を行います。 		
取組状況	経済的に困窮している世帯へ年末年始にあわせ、歳末たすけあい見舞金支給事業を実施。また、小学校、中学校入学を対象に新入学用品等の準備のための助成事業を実施。関係機関と連携し対象者の発掘・支援を行っている。		
実績値	①歳末見舞金支給事業 191件 2,475,000円	②新入学用品準備等準備 支援事業 86件 860,000円	③
課題等	対象者発掘を含めた事業の在り方の検討や広報活動。また、募金を活用しているため安定した財源の確保が望まれる。	今後の方向性	見舞金支給事業対象者など支援を必要とする世帯発掘に向けた事業の見直しを行うとともに、募金の取り組みにおいても安定した財源の確保を検討する。
課名	宜野湾市社会福祉協議会 総務・相談支援係	事業評価 (A～E)	B
施策タイトル	④フードドライブ活動の普及		
計画内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食べ物を持ち寄り、それらをまとめて地域の福祉団体や施設、フードバンク等に寄付するフードドライブ活動について、広く市民への周知を図り、活動への参加促進に努めます。 ・ 頂いた食べ物を困窮世帯等に対し一時的な生活支援として提供していきます。 		
取組状況	フードドライブとして、企業、団体、個人より食糧、生活用品等を寄付いただき、支援を必要とする世帯、または支援団体等へ一時的な生活支援、団体支援として食糧を提供する。広報においては、社協だより、社協ホームページをはじめ、様々な媒体を活用し広報を行い活動の強化を行っている。		
実績値	①食料等の寄付 69件	②食糧支援 383件	③
課題等	様々な企業・団体、個人が取り組んでいるが、更なる支援のため協力者（団体）増のための周知方法の検討が必要。	今後の方向性	周知方法の強化とともに必要な方へ食糧を提供する。
課名	宜野湾市社会福祉協議会 総務・相談支援係	事業評価 (A～E)	B

第四次地域福祉計画 地域福祉活動計画 進行管理シート	基本目標 1 みんなで支える地域共生社会づくり		
	施策の方向性 (5) 子どもの貧困対策の充実		
	取組み 1) 貧困の連鎖を断ち切るための包括的な支援		
施策タイトル	①子どもの貧困対策に向けた行政との連携・体制の整備		
計画内容	・子どもの貧困対策の推進に向けた体制を整備し、各種取り組みの検討・実施を図っていくとともに、包括的な支援を進める中で生活困窮者への支援等への波及を図ります。		
取組状況	各種事業の世帯支援において、子どもの貧困対策にも取り組んでいる。コロナ感染拡大のため行政との定期的な情報交換等は取り組めなかったが、子供の居場所（食堂）等支援活動を行う団体へはフードドライブを活用し食糧支援等できた。		
実績値	①子どもの居場所（子ども食堂等）食糧への提供 7件	②	③
課題等	関係機関との連携、包括的支援が必要であるが、行政担当課との情報共有の場が設置できていない	今後の方向性	単発な支援とならないよう、行政との連携を強化し支援のあり方について検討していく
課名	宜野湾市社会福祉協議会 総務・相談支援係	事業評価 (A~E)	B